



## 令和4年スタート！新しい年を感謝と成長の1年に！

明けましておめでとうございます。令和4年を迎え、心新たに学校を再開しました。

昨年末、2人の児童が転出することを機会に、体育館で冬休み前集会を行いました。そこでは、世界中に78億7500万人もの人がいる中で、同じ国、同じ地域に生まれ、同じ年代として共に同じ時を過ごすことは、まさに奇跡であること。だからこそ、平井小の仲間として出会えたことに感謝したいという話をしました。私も、平井小の子供たちに出会えたことが、令和3年で一番うれしかったことだと伝えました。出会いに感謝しています。遠く離れてしまったお友達も、今一緒にいるお友達も、かけがえのない存在として大切にしてほしいと思います。

冬休み明け集会では、「目標（なりたい自分）」に向かう道のりを競争する相手は、「自分」と話しました。先生やお友達は、応援することはできても、あなたが、「昨日の自分」との競争を始めなければ、目標には近づくことはできません。せっかくいい目標を考えても、自分から行動を始めなければ、「目標」は、ただの紙に書いた文字になってしまうでしょう。みんなが、目標を達成できて、ますますステキになって、自信が身に付いて、「笑顔まんかい」になるとように応援していますよ、と伝えました。1秒でも、1歩でも、昨日より前進して、自分をほめてほしいと思います。学校では、全職員で、子供たちのその1歩を応援します。今年もよろしくお願いします！

## 地域の皆様へ、感謝を込めて元気なあいさつを！

冬休み明け集会では、6年生の小林さんの作文を紹介しました。気付き、行動を変え、目標に少しずつ近づいています。子供たちのためにご尽力いただいている見守り隊の方や地域の皆様へ、みんなの元気なあいさつで恩返ししたいと思います。

おじいちゃんへの恩返し

「みりあちゃん、おはよう。」

今日も、見守り隊のおじいちゃんやさんの笑顔が、私を迎えてくれます。

おじいちゃんやさんは、雨の日も風の日も、私が暗い表情でも、何があっても、変わらずぬやさしさで通学路に立っていてくれるのです。前の日に、学校でイヤなことがあったとしても、次の日、おじいちゃんやさんの明るいあいさつとパワーのあるハイタッチをもらったら、イヤなこともすぐになくなり、元気に登校することができます。そして、児童玄関に着くと、誰よりも大きな声で、笑顔で、

「おはようございます。」  
と言うことができます。

五年生までの私は、友だちとおしゃべりに夢中で、見守り隊の人に気付いてもいなかったり、あいさつをしたとしても、班長から注意されて、気持ちがこもっていなかったりしていました。

六年生になって、班長になり、自分が先頭を歩くことになりました。最高学年として、平井小のあいさつ運動をがんばろうという気持ちを持ち始めました。

すると、見守り隊のおじいちゃんやさんがあいさつをしても、班の人は、あいさつを返していません。小さい声だったりすることに気付きました。「自分がしていないから、班の人もしないのかもしれないな。」と考えるようになって、自分からするように行動を変えたら、班の人もうるようになりました。

自分からあいさつをするようになって、見守り隊のおじいちゃんやさんの明るいあいさつの力、おじいちゃんやさん、見守り隊の方たちの思い、そして、学校内でもみんなのあいさつができていないことに気付きました。

今の私の目標は、平井小の全校児童が、明るく気持ちのよいあいさつをするようになることです。地域の方によるこんでいたただけるように、あいさつをすることです。そのことが、おじいちゃんやさんへの恩返しになると思います。恩返しができるように、これからもあいさつをしていきます。

